

平成 26 年度 奥飛騨砂防・土木技術者研修会の開催案内

公益社団法人砂防学会 事業部会
若手人材育成委員会

近年、河川や砂防に関する技術的課題に対して、従来よりさらに質の高い対策が要求されるようになってきたと感じられます。例えば、流砂系総合的土砂管理の必要性が提言されて以来、河床変動計算だけでは解決できない生態系の問題も含んだ質の高い土砂管理に向けた解析が必要になってきています。また、流砂系という言葉が日常的に使われるようになり、それにつれて山地流域の土砂生産や土砂流出現象の解明とその予測の重要性が改めて認識され、土砂生産や土砂流出に関するより詳細な情報が必要になってきています。そこで、砂防学会では、特定非営利活動法人山の自然文化研究センターと共催で、質の高い解析につながるような現地研修会を企画しました。

研修会では、将来の砂防・土木技術者の有望な人材である学生の皆さんに対して、現役の土木・砂防技術者の皆さんから実際の業務内容について、やりがいや困難な点なども交えて伝えていただく場を設けるなど、技術者・研究者・学生の顔と顔を合わせた交流の場を提供する事も目的としています。

記

「奥飛騨砂防・土木技術者研修会」

主催：NPO 法人山の自然文化研究センター

共催：(公社)砂防学会

協力：京都大学防災研究所附属流域災害研究センター穂高砂防観測所

1. 対象：砂防・土木技術者および学生（若手技術者、学生の皆様のご参加を歓迎いたします）

2. 定員：100 名（先着順）

3. プログラム（案）：

- ①講習会（テーマ：山地流域における計測，データ通信技術，話題提供者は未定）
- ②山地流域気象観測，流砂観測，およびデータ通信の現地実験
- ③土砂生産場等の現地見学会
 - ・土砂生産域巡検（ヒル谷）
 - ・タイプの異なる砂防ダム見学（蒲田川）
 - ・穂高の森での自然環境見学（右俣谷）

・上々堀沢土石流観測現場見学（上高地）

④砂防施設見学会

⑤砂防・土木技術者と学生の意見交換会

4. 実施場所：京都大学防災研究所 附属流域災害研究センター 穂高砂防観測所
（高山市奥飛騨温泉郷中尾）

アクセス：

最寄バス停は中尾湯元（もしくは高原口）

- ・JR 高山駅から路線バスで約 1.5 時間
- ・新宿から高速バス－平湯温泉で乗り換え－路線バス
- ・JR 富山駅からレンタカーで約 2 時間
- ・富山空港からレンタカーで約 1.5 時間

5. 開催日時：

平成 26 年 7 月 5 日(土)15:00

～7 日(月)12:00

6. 費用：

- ①参加費 無料
- ②テキスト代 1,000 円
- ③宿泊費 実費
(社会人：12,000 円/泊程度，
学 生：7,000 円/泊程度)
- ④その他（昼食代等）実費

7. お申し込み方法：

氏名，所属，宿泊希望日を，下記メールアドレスにお送り下さい（基本的に主催者で宿の手配を行います，希望がありましたらお申し込み時にご連絡下さい）。

8. 申込み期限：6 月 16 日(月)

9. お申し込み・お問い合わせ先（事業部会担当）：

京都大学防砂研究所 穂高砂防観測所

堤 大三

E-mail：tsutsumi.daizo.8m@kyoto-u.ac.jp

TEL：0578-89-2154

※この研修会は技術士 CPD の対象になります。

※急峻な場所での現地見学もありますので，万一の事故等に備えた保険加入などの対応を各自でお願いいたします。